

ロシア議会選挙前情勢

1. はじめに

12月4日のロシア下院議会（国家院）投票日まで2週間を切っている。本稿では全ロシア世論調査センター（Всероссийский центр изучения общественного мнения (ВЦИОМ : VTsIOM)）の最近の分析結果をもとに、ロシア有権者の動向や選挙予測について報告する。

2. 選挙制度

まず、初めに議会の選挙制度について概説する。下院議会の任期は今回の選挙から5年に延長され（従来4年）、比例代表制全国1区拘束名簿式で議席数は450である。候補資格は政党で、有権者は政党に投票する。得票率7%阻止条項いわゆる足切りラインがあり、投票率が7%を下回る政党は原則的に議席を獲得することができない¹。

図表 1: ロシア下院議会選挙制度

任期	5年
選挙形式	比例代表制 全国1区拘束名簿式
選挙区	比例区(連邦選挙区=全国1区)
議席数	450議席
候補資格	政党
投票方法	政党に投票
阻止条項	投票総数の7% 6~7%:2議席 5~6%:1議席

3. 前回選挙(2007年12月2日)結果

前回の選挙結果は図表2の通り。7%の阻止条項により、議席を獲得したのは与党統一ロシア、共産党、自由民主党、公正ロシアの4党のみ。統一ロシアが得票率64.30%の過半数の票を獲得し、議席数は450議席中315席と全体の70%と絶対多数を占めた。

¹ この足切りラインは2016年の次回選挙から5%に引き下げられることが決定している。

図表 2: 2007 年 12 月 2 日選挙結果

	得票数	得票率	議席数	議席率
統一ロシア	44,714,241	64.30%	315	70.0%
共産党	8,046,886	11.57%	57	12.7%
自由民主党	5,660,823	8.14%	40	8.9%
公正ロシア	5,383,639	7.74%	38	8.4%
ロシア農業党	1,600,234	2.30%	0	-
ヤブロコ	1,108,985	1.59%	0	-
市民勢力	733,604	1.05%	0	-
右派勢力同盟	669,444	0.96%	0	-
ロシアの愛国者	615,417	0.89%	0	-
ロシア社会正義党	154,083	0.22%	0	-
ロシア民主党	89,780	0.13%	0	-
無効票	759,929	1.09%	0	-
合計	69,537,065	100%	450	100%

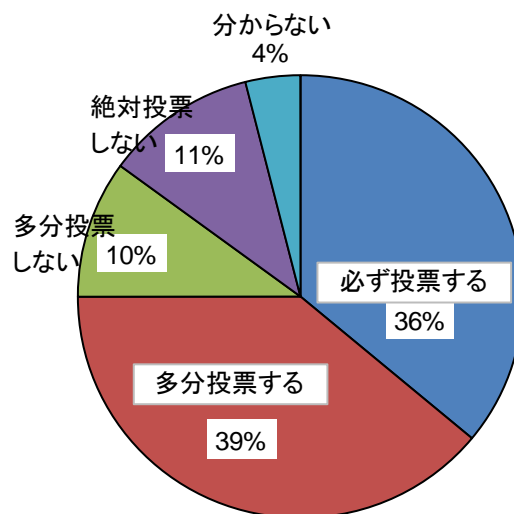
(資料: ロシア選挙管理委員会)

4. 2012 年選挙前情勢

以下、VTsIOM の調査結果を紹介する。この調査はロシアの 46 地域及び共和国内の 153 地点 1600 人を対象に継続的に行われているものであり、現在公表されている最新のデータ（2011 年 10 月または 11 月）による。

(1) 投票率見込み(図表 3)

図表 3: 投票意思



(資料) VTsIOM (以下同じ)

「2011年12月の議会選挙に投票するか」との問いに対する回答は図表3のとおり。回答者に占める割合は「必ず投票する」36%、「多分投票する」39%で7割以上が投票すると回答している。これをもとにVT s IOMが予想する投票率は56%で、2007年選挙の63.71%をかなり下回る予想となっている。ロシアでは政治的無関心が広まりつつあるとの報告があるが、これと関係することも考えられる。

(2) 投票行動(図表4)

図表4:投票行動 (%)

	10月22日	10月29日	11月4日	11月12日
統一ロシア	45	43	43	40
共産党	13	14	12	13
自由民主党	7	9	9	9
公正ロシア	5	4	5	7
ヤブロコ	1.56	1.45	1.1	1.35
ロシアの愛国者	0.44	0.38	0.25	0.31
正義の事業	0.44	0.95	0.76	0.56
分からない	11	11	13	13
投票しない	15	14	15	14

「次の日曜日が投票日だとしたらどの党に投票するか」との問いに対する回答。「統一ロシア」の割合は4割程度であるが、この割合は2008年8月の60%をピークに低下傾向にある。

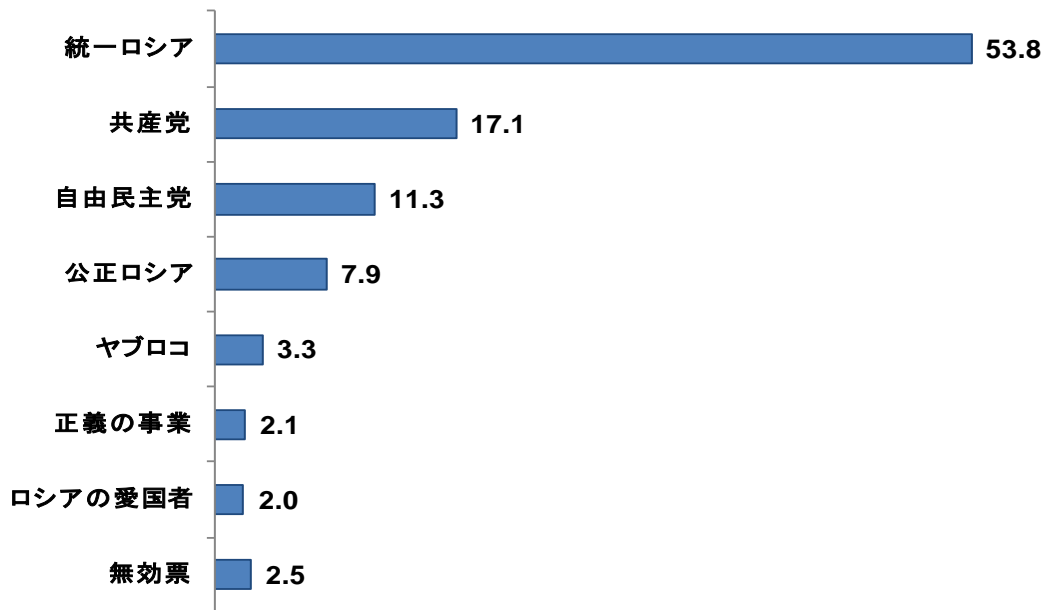
(3) 政党別得票率予測(図表5)

図表5:得票率予測 (%)

予測時点	2010/11	2011/3	2011/6	2011/8	2011/10
統一ロシア	62.9	58.7	58.3	55.0	53.8
共産党	11.9	13.6	14.7	16.4	17.1
自由民主党	6.9	9.1	9.8	10.8	11.3
公正ロシア	8.9	9.8	7.3	7.1	7.9
右派活動	2.6	2.7	4.1	4.9	2.1
ヤブロコ	3.9	2.9	2.8	2.5	3.3
ロシアの愛国者	2.8	1.8	1.9	2.1	2.0
無効票	—	1.3	1.1	1.2	2.5

図表 5: 得票率予測と足切り

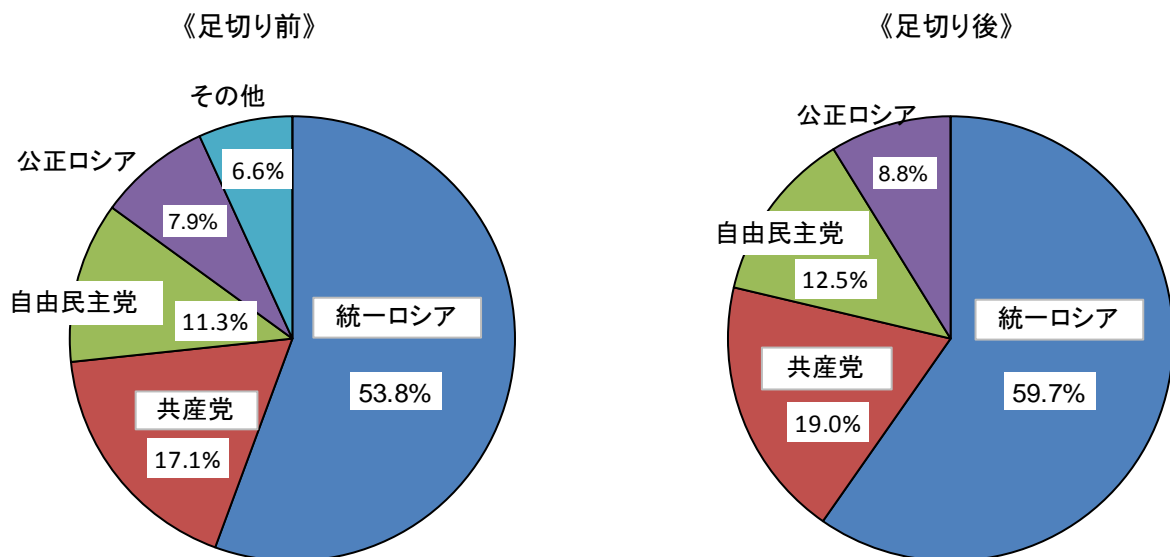
(%)



2011年10月時点の政党別得票率予測は、統一ロシア 53.8%、共産党²17.1%、自由民主党³11.3%、公正ロシア 7.9%となっている。この1年の間に、統一ロシアの予測値は10ポイント近く低下しており、これに対し共産党、自由民主党が上昇傾向にある。公正ロシアは横這いないし微減。

(4) 議席数予測(図表 6、図表 7、図表 8)

図表 6: 政党別得票率予測



² ソ連共産党の流れをくむ社会主義政党。

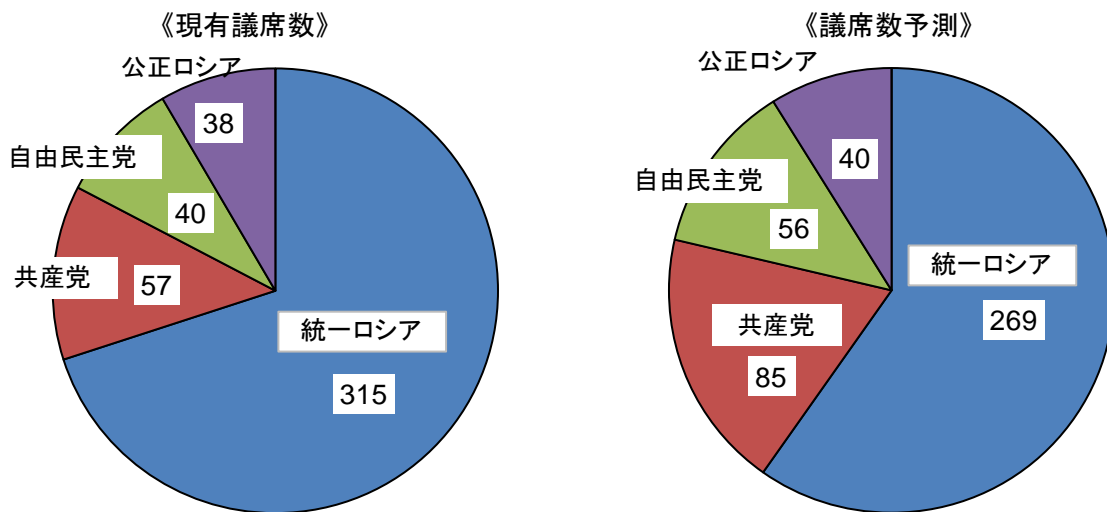
³ 極右民族政党。党首ウラジミール・ジリノフスキー氏。

⁴ 中道左派。社会民主主義指向の政党。2008年大統領選挙では、メドベージェフ現大統領を支持した。

図表 7: 政党別議席数予測

	前回	今回(予測)
統一ロシア	315	269
共産党	57	85
自由民主党	40	56
公正ロシア	38	40

図表 8: 現有議席と予測との比較



阻止条項によって足切りされた政党の得票及び無効票を除く 4 党の得票率は、統一ロシア 59.7%、共産党 19.0%、自由民主党 12.5%、公正ロシア 8.8%となり（図表 6 《足切り後》）、この得票率による議席配分は図表 7 のとおりである。統一ロシアは現在の 315 議席から 269 議席（59.7%）へと大きく議席を減らすことが予測されており、これに対し共産党（57→85）、自由民主党（40→56）と増加する見通しとなっている。

5. コメント

以上の VTsIOM の分析によると、統一ロシアが憲法改正に必要な 3 分の 2 の議席を獲得することは難しい状況である。プーチン首相の 2012 年大統領選立候補の発表が、議会選挙後という大方の予想に反して 9 月 24 日に行われたこと背景には、議会選挙がプーチン体制に対する投票であることを明確に打ち出し、選挙戦の引締を狙うプーチン氏の意図があったものと推察される。

2012 年大統領選挙でのプーチン氏の当選は確実で、さらに憲法上は 2 期 2024 年まで大統領としてとどまることも可能であり、それが国民の間に「プーチン支配」に対する嫌気のムードを生み出していることは、投票率の低下、統一ロシアの支持率の低下傾向などからも伺われるところである。

以上